

二)。物品・数量を記した後に地名を書くのは珍しい。(15)は荷札に由来するとみられるが、上端以外は欠損する。(16)は二片接続で、上端折れ。下部には穿孔がある。(17)は完形荷札。塩を貢進することから、「田田」は後の紀伊国名草郡多田郷に該当するか。サト名の次に「五十戸」「里」を省略している。(18)は完形だが、裏面の墨書は削り残り。「五丈」は上長押の長さで、割書にはそれを組み立てる際に使用する釘の種類と本数を記す。付札状を呈した進上状で、地方からの貢進荷札ではない。(19)は上端折れ、下端二次的切断。「弟国」は「廣人」の出身地とみられ、後の山城国乙訓郡に該当しよう。一文字目は下部が「木」の字体で、「集」と釈読できれば、「物集村」の可能性がある。(20)は上端折れで、材の下部に日付と人名を記す。(21)は一三枚を合わせた檜扇の破片(上部欠損)で、最も外側の一枚に墨書する。(22)は上端部の左右二箇所に径約5mmの小孔があり、その下に墨書する。番付に関わるか。

9 関係文献

奈良文化財研究所『奈良文化財研究所紀要二〇〇八』(二〇〇八年)

同『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報』二二(二〇〇八年)

(市 大樹)

奈良・安倍寺跡

あべでら

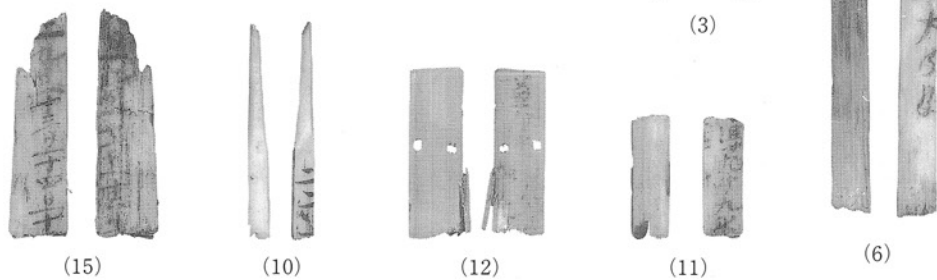
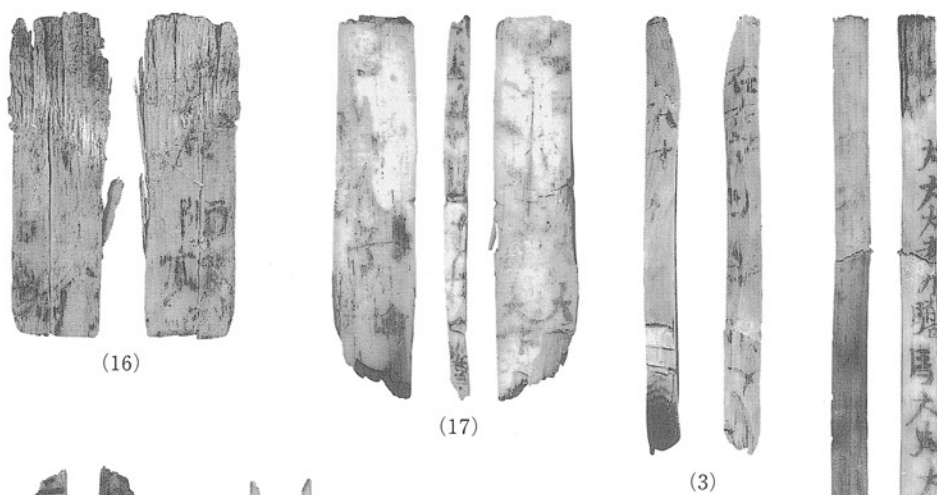
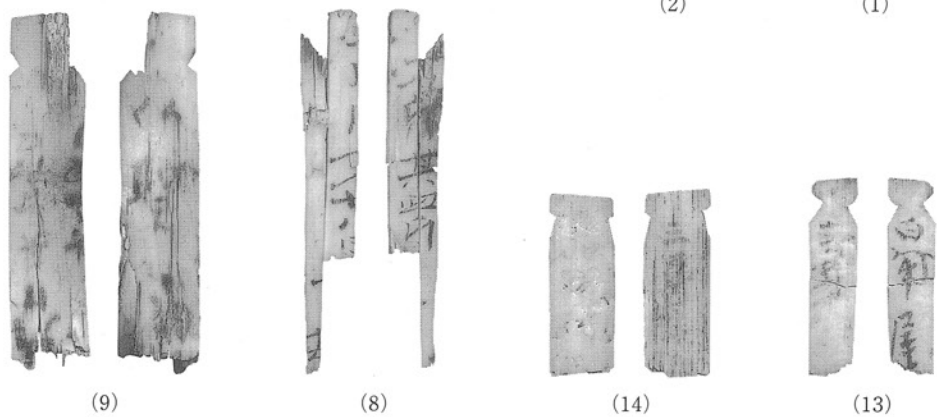
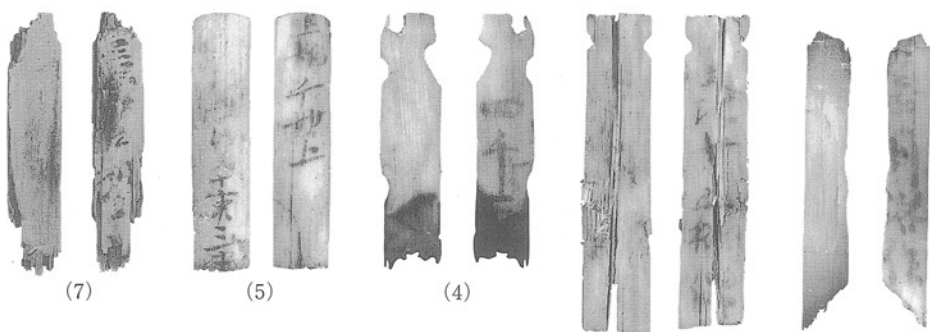
- 1 所在地 奈良県桜井市安倍木材団地
- 2 調査期間 第二〇次調査 二〇〇六年(平18)八月～九月
- 3 発掘機関 桜井市教育委員会
- 4 調査担当者 木場佳子
- 5 遺跡の種類 寺院跡
- 6 遺跡の年代 飛鳥時代～中世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

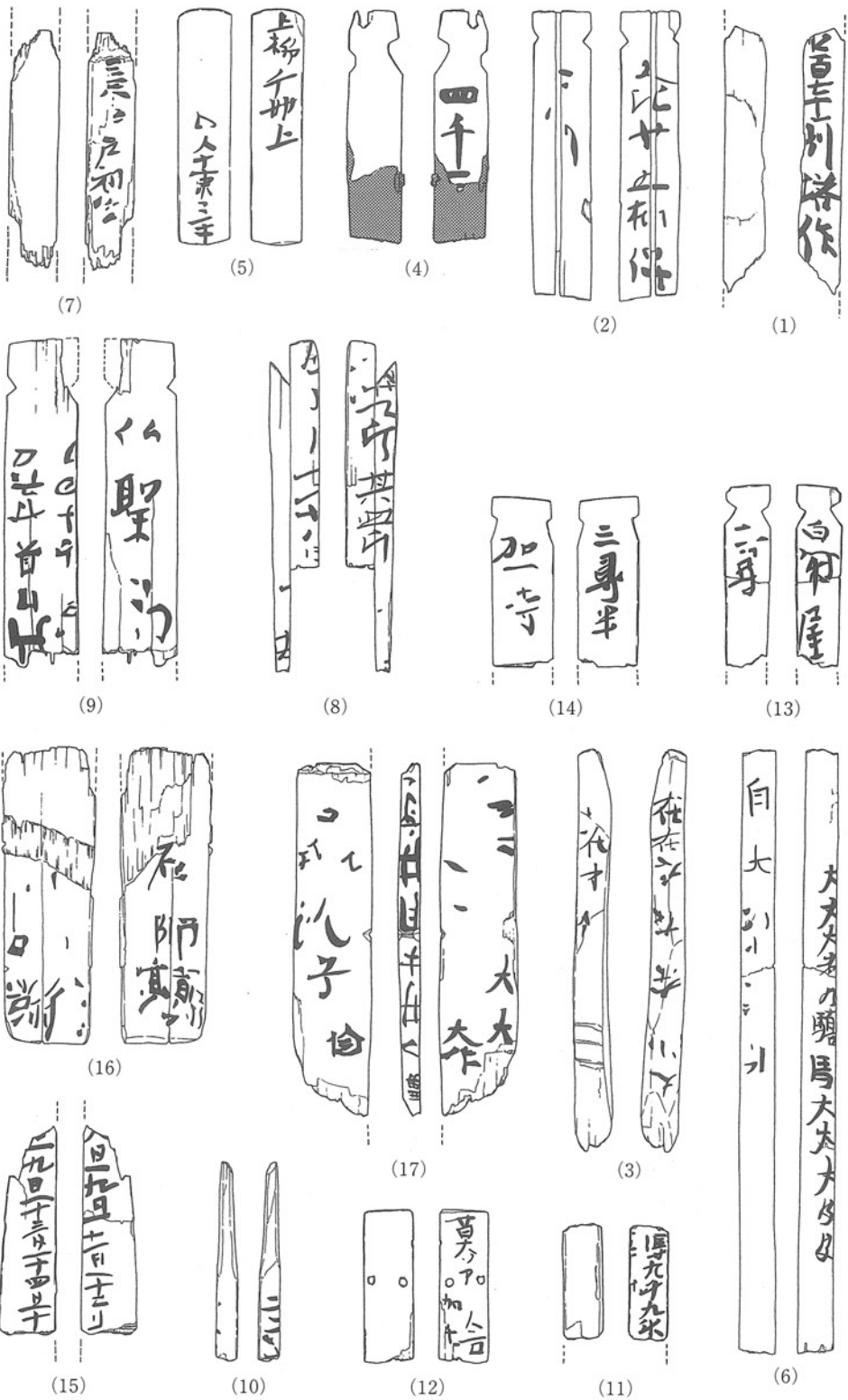
安倍寺は七世紀中頃に創建されたと考えられる古代寺院で、『東大寺要録』などから、阿倍氏の氏寺として建立されたと推定されている。発掘調査によって主



(桜井・吉野山)

要伽藍及び寺域の西限はほぼ確定し、南・東限についてもその概略を捉えている。北限・北域の土地利用状況は不明瞭な部分が多いが、銅滓や銅製品、鞆羽口、板ガラス片、墨書土器などが出土しており、工房や雑舎





(7)は破損が激しいが、上端の一部に削り整形の痕跡があり、上端左右にも切り込みの一部とみられる痕跡が僅かに見え、荷札木簡である。下端部は折損している。「三尺」の下はやや墨痕が薄い、「五十戸」とみてよい。三尺五十戸は「ミサカノサト」であり、『和名抄』には武蔵国横見郡御坂郷・備後国神石郡三坂郷・筑前国穂浪郡三坂郷がみえる。里ではなく五十戸と表記することから天武朝後半以前の木簡と考えられる。

(8)は二片が接合するが、原形をほとんど残さない。破損状態が不自然なことから、木簡の廃棄段階で人為的に破砕されたと見られる。一九斤あるもののうち、四斤について何かを行なった記録木簡か。

(9)は上端に切り込みがある付札。切り込み部分には紐の痕跡が残る。下端は折損する。墨書は両面にあり、裏面は天地を逆にして記す。「仏聖」は「仏餉」と同じで仏前などに供える米飯であろう。

(10)は上端は二次的加工により細長く削る。下端は折損。

(11)は上端折損、右辺割れ、下端部は断面逆字形に表裏両面から刃物を入れて切断する。「九斗九升」と大きな量を記す。

(12)上下両端、左右両辺とも原形を残す小型の木簡。中心の左右に穿孔がある。上半部は「廿日」と一行で記し、下半部は二行に分けて記している。これと同様の木簡がもう一点ある。

(13)は上端は原形をとどめ、切り込みをもつ。下端は折損。二文字目は「マロ」と訓み、七世紀の木簡によく見られる人名表記である。

(14)は上端及び左右両辺は原形をとどめる。上端左右には切り込みがあり、紐の痕跡が残る。下端は切断されており、二次的加工の可能性もある。墨痕は両面ともかなり薄い。

(15)は上下両端は折れ。左右両辺も割れていて原形を残していない。日付を順に記し、各日に確認のための合点を付した木簡である。なお、この合点らしき墨痕は界線の類の可能性も残る。

(16)は下端と右辺が原形をとどめ、左辺は割れ。上半分は表裏両面とも破損が激しい。全体にやや大きめの文字を記しているが、内容はよくわからない。

(17)は上端及び下端は折損し、側辺は片側のみ原形をとどめる。側辺の中央には正面と左右の三方向からの切り込みがある。文字の配置に規則性はなく、また同じ文字を繰り返していることから習書木簡であろう。

なお、木簡の釈読にあたっては、京都教育大学(当時)の和田萃氏、奈良県立橿原考古学研究所の鶴見泰寿氏のご教示を得た。

9 関係文献

桜井市教育委員会『桜井市平成18年度国庫補助による発掘調査報告書』(桜井市立埋蔵文化財センター発掘調査報告書三〇、二〇〇八年)

(木場佳子)